

桜区防災ニュース

第41号（令和8年1月）

桜区自主防災会

<https://sakuraku.org>



桜地区の皆様、明けましておめでとうございます。

一昨年は、能登半島地震が発生し現地では大きな被害が生じました。復興にはまだまだ時間がかかりそうです。

桜区自主防災会は、地域の安全と福祉をテーマに「防災・減災」への取り組みを一層充実強化していく所存です。本年も地区の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

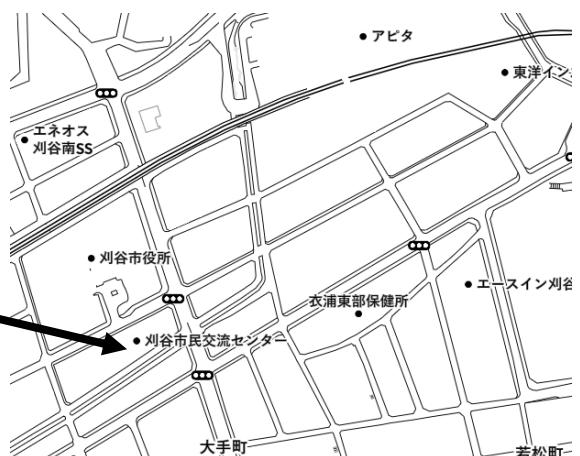
刈谷市では、大規模災害が発生した場合、被災者の自立・復興支援を行うため、災害ボランティアセンター（以下、ボラセン）を立ち上げる計画になっています。

1. 設置の流れ

- 1) 災害対策本部から刈谷市社会福祉協議会（以下、社協）へボラセンの運営を要請する。
- 2) 社協が災害ボランティアコーディネーター（以下、災害ボラコ）に協力を要請しボラセンを運営する。

2. ボラセンの場所

ボラセンの場所は、刈谷市役所隣の刈谷市民交流センターと大手公園が予定されています。ボランティアの人数が増えた場合は、サテライトと呼ばれる分所の設置も考えられています。



3. 災害ボランティア活動開始のタイミング

発災後3日目頃までは、人命救助、消火活動、避難所開設などが優先されます
が、風水害の場合は家屋の腐敗の危険性があるため、なるべく早く開設される予
定です。地震の場合はボランティアが余震に巻き込まれる心配があるため、開設
は少し遅れることになると思われます。

4. ボランティアの依頼

住民の皆様には、がれきの撤去、泥だし、室内の片付けなどお困りごとが発生し
ましたら、刈谷市からの通知に従ってボラセンに連絡をお願いします。
安全性、重労働、営利性、政治的・宗教的活動などを考慮した「ニーズ受付基
準」により「受理」「不受理」「保留」となります。

能登半島地震ボランティア
活動の様子



5. 災害ボランティアコーディネーター養成講座

毎年7月に、刈谷市危機管理課と刈谷市社会福祉協議会が主催する「災害ボラン
ティアコーディネーター養成講座」が開催されます。災害ボラコの役割は、ボラ
センの運営支援ですので、ご協力が可能な方は受講及び発災時の支援をお願いいた
します。

事前の備えと助け合い！

平時には事前の備えをしっかりと行い、
災害時には助けられる側から助ける側
に回りましょう。